

ホッカイドウ競馬は、存廃問題の直中にあります。

昨年度は、道から(社)北海道軽種馬振興公社に運営が移行され、ナイター設備導入により「グランシヤリオナイター」の開催や新スタンド「ポラリスドーム」など大幅にリニューアルされた門別競馬場を中心にホッカイドウ競馬が開催されました。昨年は、七月八日に集中豪雨により開催中止がりましたが、八日間の開催で、馬券発売額一億五億四〇七万二二〇〇円、前年対比一〇一・四%を達成し、計画対比では九七・九%という結果を残しました。

地域が一丸となって

今年度は、道が実施する経営健全化に向けての三カ年計画「競馬改革ビジョン」の最終年度となっており、単年度での収支均衡が存続に向けての絶対条件となっています。

そのような状況の中、四月二十八日、

ホッカイドウ競馬存続へ 向けて出来ること



門別競馬場で開幕を迎えたホッカイドウ競馬。

二〇〇八年の開催をもって閉場した旭川競馬場に続いて、札幌競馬場での開催も休止し、今年度からは、全開催門別競馬場でのナイター開催となりました。

ホッカイドウ競馬が、軽種馬産業を基幹産業としている日高地方にと

って、流通や消費をはじめとした経済活動、雇用の創出・維持などに果たす役割は極めて大きく、門別競馬場単独での開催となったことにより、日高地方の経済に占める位置は、一層重要なものとなりました。

馬券発売額については、開幕からゴールデンウィークにかけて、前年対比一二八・八%、計画対比一一〇・六%と非常に順調だったものの、六月末時点で前年対比については、一〇三・七%となっていますが、計画対比では、九一・六%と非常に厳しい状況となっています。

ホッカイドウ競馬存続に向けて、今年が正念場となっています。存続への絶対条件である収支均衡という目標を達成するためには、皆様の各種支援イベントへの積極的な参加など地域が一丸となり、取り組んでいくことが必要不可欠となります。

「A i b a 祭」開催

七月十三日、さくらセレモニールにおいて、ホッカイドウ競馬支援事業実行委員会主催のもと「A i b a 祭」が開催されました。

ホッカイドウ競馬を地元から盛り上げていこうと始められた本イベントは、昨年までは年一回の開催でし

たが、今年は五月から十一月まで全七回の予定で、今回がその三回目となりました。



会場は、競馬ファンや家族連れ、職場の仲間同士など多くのお客様で埋まり、ビール片手にレース観戦をし、大いに盛り上がりを見せました。また、最終レース終了後には、すっかりお馴染みとなった馬券二〇〇〇円分を一口とした大抽選会も行われ、こちらも盛り上がりを見せました。

第一回目は、二七万五七〇〇円、計画対比一六一・二% (※この計対比はA i b a 静内の発売計画に対するもの)。第二回